

【一回戦】 B2

4回裏終了時、時間切れ

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
制覇クラブ	4	3	6	2						15
くらぶ あづま	0	2	1	0						3

開始 10:30 終了 12:09 所要 1時間39分

【審判】 山下英一郎
西川典夫
藤島隆之
小島一輝

【二塁打】 三槻伸也(エンタイトル)、
小宮良太、高原吉弘

【制覇クラブ】 打安点球

⑨	小西 清弘	29	2	2	0	1
9	岡部 洋平	29	0	0	0	1
⑥	小宮 茂輝	32	1	0	0	3
⑤	春田 一馬	27	4	2	3	0
⑦	三槻 伸也	35	2	1	1	2
⑧	白石 勝太	31	3	1	2	1
②	小宮 良太	32	4	1	2	0
③1	山坂 真心	29	3	0	0	0
34	井村 昭洋	37	0	0	0	0
①31	高原 吉弘	31	3	1	0	0
④3	春田 朱哉	20	3	2	0	0

犠0振1残6併1失0 25 10 8 8

[その他の登録選手] 監: 春田真吾(47)

国分祐太郎(30)、日下部達也(35)、野田信哉(67)、

小宮洋志(21)、村井竜也(26)、春田竜二(40)、山田周(23)、原田暢弥(31)

地元の制覇クラブが10長短打15得点。初回は小西、小宮茂が連打の二三塁に春田一の2点打。三槻のエンタイトル打で二三塁に連続暴投で初回は4得点。二回は先頭高原の右線二塁打から小西の内野安打。暴投で加点後に春田一の安打を間の四死球で押し出し後に敵失で還り3得点(残塁3)。三回には押し出しを含めた3四球に白石の適時打や小宮良の2点二塁打に暴投生還など、打者10人で6得点。四回は春田朱の安打から連続死四球の無死満塁に内野ゴロ間に14点目が入り、敵失で15点目。四回を終わって6番打者までが毎回打席に立った。くらぶあづまは二回に3四球を得た二死満塁に暴投で2者が還ると、続く2者も四球出塁し再び満塁としたが、救援の山坂に後続を抑えられた。三回には再登板の高原から先頭の松本が中安打。これが後逸の間に三進し内田の三ゴロ送球の間に3点目を挙げたがこの時点で10点差。四回にも白山、立山に安打が出たが3走者を残して後続が中飛に倒れ、タイムアップで試合終了

くらぶあづまのチーム名では2年連続4回目の天皇賜杯県大会だったが、今大会も黒星で4連敗。平成16年は吾妻町体協で3戦のベスト4が最高位。

【くらぶ あづま】 打安点球

④14	丸山 大貴	25	2	0	0	1
⑧	立山 優弥	27	2	2	0	1
⑤	福田龍太郎	32	3	0	0	0
③	松本 恭介	30	2	1	0	0
41	川原 真二	39	1	0	0	0
⑥	内田 力也	27	1	0	1	1
②	池田 亮太	22	1	0	0	1
⑨	本田 寿光	22	2	0	0	0
⑦	馬場 雅也	26	1	0	0	0
7	白山 貴也	26	1	1	0	0
①	田口 大貴	22	0	0	0	1
1	岩永 英敏	38	0	0	0	0
3	平林 雅文	38	1	0	0	0

犠0振3残7併0失3 17 4 1 5

[その他の登録選手] 原田銀次郎(20)、荒木健太(33)

